

どうし 議会だより

NO. 66

道志
から見える 富士山

📷 村道久保秋山線（巖道峠）

📷 国道釜の前地内

contents

- P6 当初予算
- P12 村民の声
- P13 活躍する団体紹介（道志村食生活改善推進委員会）
- P14 がんばる人紹介（道志トルベジーノJr コーチ 杉本 正人さん）

📷 椿大橋

おもな審議・可決事項

●専決処分の承認

- ・道志村に住所を有する者に1人1万円給付
- ・非課税世帯に一世帯あたり3万円給付

●令和6年度道志村一般会計補正予算(第6回)

おもな財源		おもな使いみち	
国庫支出金	1,835万円	総務費(総務管理費)	2,023万円
地方交付税	3,117万円		
繰入金	△2,929万円		

●条例の改正(13件)

- ・道志村国民健康保険条例の一部を改正する条例他

●変更(3件)

- ・工事請負契約の変更について(竹之本地区法面工事)他

●令和6年度道志村一般会計補正予算(第7回)

おもな財源		おもな使いみち	
村税	1,163万円	総務費	△4,268万円
国庫支出金	△376万円	民生費	△508万円
県支出金	△220万円	教育費	△2,167万円
繰入金	△3,796万円	諸支出金	2,549万円
村債	△860万円		

●公の施設の指定管理者の指定について(6件)

- ・道志村交流促進施設 道の駅どうし他

●追加 発議第二号

- ・女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書

●同意 第一号

- ・固定資産評価審査委員会委員の任命(佐藤^{とよあき}豊明さん、池谷^{ただし}忠さん)

令和7年度一般会計予算他、
専決処分の承認、
一般会計補正予算等審議

- 〔会期〕3月4日～14日
- 条例(13件)
- 変更(3件)
- 専決処分の承認(1件)
- 補正予算(3件)
- 請願(1件)
- 追加(2件)



おさだ かずお
長田 和夫 議員

新しい道志村総合計画は

ふるさと振興課長 村の発展に向け
より良い計画の作成

◎ 総合戦略も最終年度となり、新たな総合計画に当たり村民との意見交換会の予定、計画への想い入れは。

▲ (ふるさと振興課長) 現総合計画は、平成28年度に策定され「人と自然が輝く水源の郷」をテーマに地域の特性を生かし、住民が安心して暮らせる環境を整えることを目的としており、自然環境の保全と地域活性化を両立させるための重要な指針となってきました。

新計画についても、今までの計画を踏襲しながらより効果的な対策が求められていると考えています。特に総合計画と同時期に策定された人口ビジョンの想定を大きく上回る人口減少は極めて深刻であり、その対策が急務です。人口減少により地域

のコミュニティは低下し、空き家や荒廃農地の増加は持続可能な地域づくりを阻害します。

まず何より高齢者や子育て世代など、多様なニーズに応じた支援体制、更なるDX化による利便性を整えることで現在住んでいる住民の皆様がこれからも住み続けていたいと思うような村づくりを目指します。住むうえで最も不便をきたす原因となる交通事情については、月夜野トンネルや都留市への防災トンネルの整備に一定の目途がついたことにより、ある程度の解消が見込める状況になりました。これらの視点を基に、新たな総合計画は道志村の将来を見据え、地域の皆様と共に意見交換を行いながら、村の発展に向けてより良い計画を策定していく

よう取り組みます。

◎ 観光振興とは「観光を通じてその地域の文化や伝統を活用した、経済に良い影響をもたらすきっかけとなります」そこで、役場、(株)どうし、観光協会の役割と連携強化は。

▲ (産業振興課長) (株)どうしにつきましては、観光客に対する地域の特産品やサービスを提供する企業として、さまざまなイベントを通じ、販売促進などの強化を図っています。

観光協会につきましては、村の観光情報発信や観光客に対して

魅力的な体験を提供するためのプログラム作りに入れています。

観光振興においては、地域の魅力を最大限に引き出し、イベント開催などを通じ、訪れる人々に感動と満足を提供することが重要であると考えますので、引き続き連携強化を図っていきたいと考えています。

(再質問あり)



観光拠点の道の駅どうし



さとう ますみ 議員
佐藤 真澄

学校運営協議会の現状と方向性は

教育課長 学習支援体制の構築、学校環境の整備、通学路等の安全確保の検討を進める

◎ 学校運営協議会の状況や今後の検討の方向性は

A (教育課長) 学校運営協議会につきましまして推進委員会メンバーを中心として中長期的な視点から今後の方向性等について協議

を行ってきたところで、

令和7年度におきましては、まずは、学習支援体制の構築、学校環境の整備、通学路等の安全確保の3分野について、地域からの幅広い支援が得られるよう取り組みを進めます。

◎ 義務教育学校の設置や一体型校舎を活用した小中一貫教育の推進は

A (教育課長) 一体型校舎は、完成後8年が経過し、この間、教職員の皆さんのご尽力により、9年間を通じた総合的な学習の取り組みなど一定の成果を挙げてきたものと認識しています。

一体型校舎を今以上に有効活用する様、来



小中一体型校舎

年度は小中一斉に授業参観を設け、保護者が相互に参加できるようにするなど、より一層の連携強化を図っていきます。

◎ 運行単価の増額に伴う、スクールバスの運行方法等の協議の進捗と来年度予算は

A (教育課長) スクールバスの運行は無くてはならない通学手段であります。富士急バスとの協議に先立って、授業に支障のない範囲で委託料について協議してきた結果、令和7年度当初予算は22.2%の減額になっています。

大幅に予算額を削減できた要因は、これまで基本としてきた下校3便を2便または1便に変更できたこと、児童・生徒数の減少に伴いバスの小型化を図ったことなどによるものであります。



学校図書館

す。

◎ 学校の図書館を村民にも開放する取り組みについて

A (教育課長) 施設や備品等を相互に活用することは、経費削減を図る観点から極めて重要な取り組みであると認識しています。

村の貴重な行政財産を有効活用し、村民への生涯学習の機会の提供と開かれた学校づくりに寄与できるよう、学校図書室の村民への開放の取り組みを、積極的に進めていきます。

(再質問あり)



やまぐち えいいち
山口 栄一 議員

村政推進における基盤整備は

村長 村の強靱化・道路整備の推進

◎ 村長による、村政における基盤整備の必要性は。

▲ (村長) 人口減少が進む本村にとって、基盤整備の必要性、中でも都留道志線の新防災トンネルの推進は、すべての村民の悲願中の悲願と言っても過言ではありません。この事業の実現によって、村内と村外との格差を大胆に是正しようと強力に推進してきました。

また、これまで取り組んできた国土強靱化に関する様々な事業、国道の雨量規制の撤廃、防災トンネルの推進などは、30年先、50年先、更に100年先の子々孫々が、冷静かつ客観的に評価を下してくれるものと考えています。

◎ 子育て支援事業は。

▲ (村長) 地方自治体にとって

明るい将来を期待するのであれば、子どもの教育に全力で取り組む必要があるものと考え本村では、県内においてはどこにも負けない、全国的に見ても優れた支援策であると自負しています。

出生から、保育園、小中学校、高校と、全ての段階に手厚い支援策を講じ、子育て世代の保護者には大きな経済的負担の軽減につながっているものと思っています。

村内の子育て世代のお父さんやお母さんには、このような私の気持ちを汲み取っていただき、村内での子育てに明るく夢をもって取り組んで欲しいと、大いに期待をしています。

◎ 村長任期満了に伴う所見は。

▲ (村長) 12年前の村長選への

出馬に当たり、村民のため、村のため、道路の整備を強力に推進しようと決意をいたしました。

まず手始めには、道志小中学校の一体型校舎の整備を行いました。また次には、役場の庁舎整備を進めて参りました。

整備に当たっては、老朽化した庁舎を耐震化するとともに、執務スペースを十分に確保いたしました。さらに災害の際には、防災拠点としての役割を担うとともに、避難所としての機能が発揮できるように配慮したところであります。



役場庁舎

さて、私もこの3月で、83歳を迎えます。

選挙公約に掲げた最大の施策、道路の整備、特に防災トンネルの実現に目途が付いたところです。

これまで12年間の長きにわたり、ご支援とご協力を賜りました村議会議員の皆様、村民の皆様に、改めて感謝を申し上げます。(再質問あり)

令和7年度一般会計予算

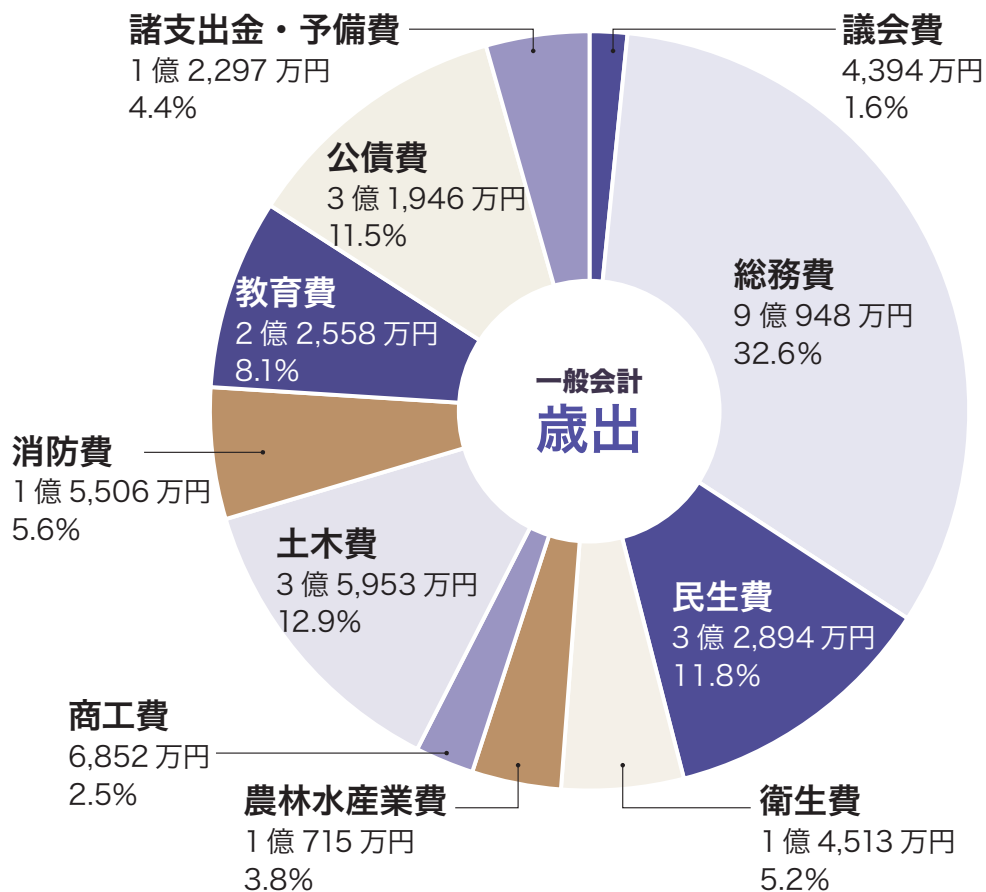
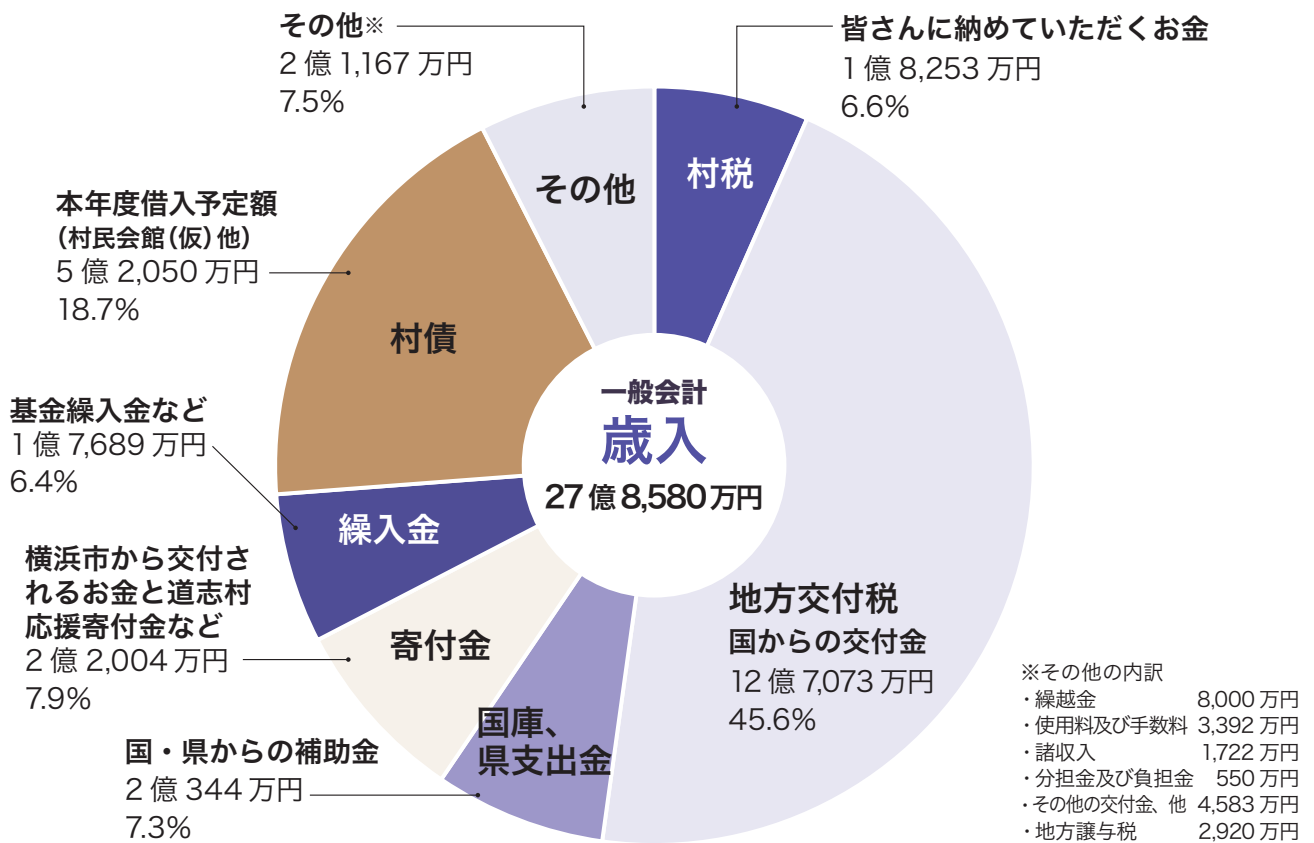
27億 8,580万円を可決

前年度比
3.5%増

総務課	●公有財産管理事業	2,488万円	●庁舎維持管理事業	1,494万円
	●広域常備消防事務委託事業	13,217万円	●財政管理費	936万円
	●防災行政無線管理事業	392万円	●消防団活動事業	1,110万円
	●災害対策事業	519万円	●公用車管理事業	1,338万円
ふるさと 振興課	●買い物環境整備事業	193万円	●ふるさとづくり事業	11,398万円
	●情報システム事業	7,834万円	●公共交通対策費	1,953万円
	●村民会館（仮）整備事業	41,245万円	●地域活性化企業人事業	615万円
住民健康課	●保育所無償化事業	583万円	●重度心身障害者医療費助成事業	711万円
	●児童手当支給事業	2,463万円	●児童健全育成事業	752万円
	●すこやか子育て医療費助成事業	395万円	●障害者介護給付事業	2,842万円
産業振興課	●環境保全事業	5,619万円	●観光施設等維持管理事業	2,469万円
	●農村地域防災減災事業	1,830万円	●村道新設改良事業	2,310万円
	●村道橋梁維持事業	12,229万円	●森林環境譲与税事業	1,873万円
教育委員会	●小学校費無償化	650万円	●外国語指導助手派遣事業	1,090万円
	●中学校費無償化	424万円	●学校給食事業	1,291万円
	●高等学校就学助成事業	1,080万円	●スクールバス委託事業	2,778万円

令和7年度 予算総括表

会計名	令和7年度当初予算額	令和6年度当初予算額	増減額	増減率
一般会計	27億 8,580万円	25億 3,575万円	2億 5,005万円	9.90%
特別会計	6億 2,401万円	6億 4,675万円	△ 2,274万円	△ 3.5%
国民健康保険	2億 3,548万円	2億 6,192万円	△ 2,644万円	△ 10.1%
国民健康保険診療所	1億 1,320万円	1億 1,513万円	△ 193万円	△ 1.7%
介護保険	2億 1,122万円	2億 1,053万円	69万円	0.30%
介護保険サービス事業	90万円	83万円	6万円	8%
後期高齢者医療	6,318万円	5,832万円	486万円	8.30%
公営企業会計	2億 7,313万円	3億 6,740万円	△ 9,427万円	△ 25.7%
簡易水道事業	1億 3,903万円	2億 2,567万円	△ 8,664万円	△ 38.4%
浄化槽事業	1億 3,409万円	1億 4,172万円	△ 763万円	△ 5.4%
合計	36億 8,294万円	35億 4,991万円	1億 3,303万円	3.70%



※数値は万円単位に調整してあります。千円以下切り捨て。

1/23

南北都留郡町村議会
正副議長連絡協議会
視察研修

丹波山村、小菅村での視察研修に参加しました。

丹波山村役場庁舎では議会事務局から説明を受け、徒歩にて古民家を改装した、カフェ&コワーキングスペースのある、T A B A C A F E の視察を行いました。

小菅村では、ドローン配送事業の事



ドローンを囲み記念写真

1/30

町村議会
一期議員研修会

業化およびドローン配送導入による地域活性化に向けた取組みをしている、エアロネクストの近藤健斗さんより取り組み内容の説明を受け、ドローンの試験飛行では着陸後に荷物の配送手順を確認し先進的な技術を目の当たりにし今後の取り組みに大いに期待し、本村においても導入することを検討していきたいと思ました。

山梨県自治会館において「地方議会の基礎知識」という演目で元全国都道府県議会議長会事務局長 内田一夫氏の講演がありました。

- ① 議会の構成
 - ② 議会の運営とは
 - ③ 発言をめぐる留意事項
 - ④ 質問と質疑
 - ⑤ 政治倫理とハラスメントの禁止
- という演目で講演があり、一期議員としてこれからの議員活動を進めていく上で非常にためになる講演でした。

2/7

第40回山梨県市
町村自治講演会

山梨県立文学館において山梨県市町村振興協会主催の自治講演がありました。皆様、知っている方も多いかと思いますが、政治ジャーナリスト田崎史郎氏を招いて「日本政治の舞台裏」と言う演目で講演がありました。

45年余りという長き、取材において田中派をはじめ与党、野党多くの政治家の取材をしてきた経歴を持ち、テレビの報道番組に出演しています。

取材をしていく上での政治家との付き合いもあり、裏話をユーモアを交え講演いただき時間のたつのを忘れ聞き入り、今後の議会活動をする上において非常にためになりました。



講演前の会場

2/4
3/12

総務文教 常任委員会

総務文教常任委員会では、道志中学校で行われている15の提言の実現に向け次の2点について企画検討することになりました。

【中学3年生による村への提言】

① 絵馬の作成販売

- 交通安全、合格祈願、縁結び等の絵馬の作成と設置場所
- 作成については制作会社にお問い合わせする。(絵柄は村の観光名所)
- 絵馬掛けの作成と設置場所の選定。(議会、村当局、賛同してくれる住民、村内事業所)
- 短期で終わらせず、長期的に観光振興につなげるように取り組む。



中学生の作成絵馬

② ラップ作成

- ・作曲依頼、観光PR方法
 - ・卒業生に作詞・作曲依頼中
(道の駅等観光施設でのビデオ放映等)
- 早期に実現を目指します。

2/18

部活動の地域 移行フォーラム

山梨県立大学飯田キャンパスにおいて、山梨県教育委員会主催による「部活動の地域移行く地域クラブ活動への移行を考える」に総務文教常任委員会5名で参加してきました。

基調講演では、萩原智子氏（スポーツアドバイザー／元競泳日本代表）による「導きくスポーツとの出会いから」と題し、オリンピック選手になるまでの練習方法、恩師、周りの人とのかわり方、気持ちの持ち方などユーモアを交え講演いただきました。

その後、地域移行の先進地である、新潟県佐渡市、青森県むつ市の事例発表があり地域ぐるみでの取り組みが紹介され、パネルディスカッションでは

取り組む上でのメリット、デメリット等の紹介があり、難しさもありましたが現在は成功しているとのことでした。本村においても速やかに移行できるよう協力していきたいと思えます。

2/18

建設厚生 常任委員会



パネルディスカッション

建設厚生常任委員会は2月18日に委員会を開き観光施設（名所）の維持管理状況を議員全員で視察することに決

め3月4日の全員協議会で観光場所の視察を兼ねて清掃を行う事を決定しました。

実施日は観光シーズンを迎える4月15日とし、今回の施設の場所はすでに委員会で見した雄滝雌滝、二里塚、様を行う事としました。

今後も定期的に維持管理の状況を視察し、環境整備を行い観光客が安全に楽しめる施設造りに努めます。



的様の遊歩道

3/12

国道413号道志バ
イパス1号トンネル
(仮称) 工事現場視察

村長、議会議員で1号トンネル工事視察に行きました。



トンネルの中にて

東部建設事務所吉田支所(支社長)より挨拶があり、請負業者(JV共同企業体)による説明があり、その後、工事の進め方、工法などを聞きながらトンネルの奥の方まで行きました。貫通まで残り3mということでしたがトンネル工事の現場は土砂が多いため、3種類の補助工法を用いて施工すると言う説明を受けました。

今回の視察は山梨県と長田村長の好意で実現でき、トンネル工事の内部を見ると言うことは中々ないので貴重な体験をさせていただきました。

Q 広報事業 広報誌の配布について

A 期間を決め郵送



自治会加入者に対しては現行通り自治会から配布を行います。加入していない世帯に関しては郵送を行わない事とし、やまゆりセンター、道志の湯、道の駅等に配置してある物を持って行く事としていましたが、当面の間は郵送を行うという回答がありました。

Q 道志体験農園運営事業の今後は

A 果樹試験圃場

貸農園の利用者が当初100区画近くありましたが、近年30区画以下の為、道志村の新たな特産品の開発や、ふるさと納税の返礼品目の拡大を目的に体験農園の圃場を活用し、果樹(シャインマスカット、桃)等を試験的に栽培し村民に参加してもらい栽培講習を行い技術の向上を図り遊休農地の解消につなげたい。

12月定例会以降のおもな活動

12月12日	15の提言
12月25日	全員協議会
令和7年 1月9日	町村長・町村議長 新年互例会
1月14日	全員協議会 県際広域防災連絡会
1月21日	建設厚生常任委員会 南北都留正副議長 連絡協議会
1月23日	 試験飛行のドローン
1月30日	町村一期議員研修 全員協議会
2月4日	総務文教常任委員 富士・東部広域環境 事務組合定例会
2月7日	山梨県自治講演会 建設厚生常任委員会 部活動地域移行 フォーラム
2月18日	
2月20日	山梨県後期高齢者 医療広域連合議会
2月25日	広報常任委員 議会運営委員会
3月4日	定例会初日
3月14日	定例会最終日

平成25年9月定例会

Q 観光振興の今後はどうする

A

観光客のニーズを把握する中で、観光推進事業の推進、観光資源の新たな活用方法の検討を行い、「道志村官民連携観光マネジメント戦略計画」に基づき取り組みを行う。

その結果今は



観光協会、商工会、村内の観光施設と共同で観光PR等を行い、都市との交流人口の増加、地域経済の活性化に努めている。

議会の考え

村の自然環境、観光資源の発掘を図りインバウンドにも力を入れ観光客の増加に繋げてほしい。

昨年10月に開催した議会報告会で提案のあった目安箱を、役場・やまゆりセンターの2か所に2月14日に設置しました。定例会中に開けたところ3通の投稿がありました。1通については非公開要望のため記載しません。下記が内容です。今後とも投稿よろしくをお願いします。

村のシンボルになるのか「目安箱」

玄関中央に香り立つようなステイな目安箱いいですね、早々投函します。小さくともきりっと光る道志村めざして、建設的な投稿待つてる目安箱。

格好良すぎるかな？ 首長を支援、時には適切な助言と批判を怠らぬ、二元代表制めざして村民一丸となって、村造りしていきましよう。そのシンボルとなるか、この目安箱。最初は投稿が少なくとも、息長く、この目安箱が生かされることを願っています。

(2月21日)

返信 村民との対話

で生まれた目安箱です。貴重なお見を待っていますのでよろしくお願いたします。



質問のその後はどうなったでしょうか。

以前、議会がもめていたところに税金を納めなくていい処理をして得した人がいるとの質問があったと思います。

もしそんなことができるのであれば、私にもしてもらいたいと思っています。こんなことが認められることはないかと思っています。そうした質問があったということは、まんざら嘘でもないのかとも思います。

役場はそれについて調べると答

えたと思いますが議員さんは給料をもらって仕事をしているのだから、がんばって役場に調査してもらってください。

村民はみんな不満を持っていると思います。それが議員の役割だと思っています。しっかりとください。いつ、だれが、いくらしたのか知りたいです。(したのか、うけたのか)

(3月4日)

返信

令和5年12月・令和6年3月議会において一般質問された事件に対する回答を求めた内容です。当局に調査内容の確認をさせていただきます。

当時の質問内容

(令和6年3月定例会一般質問、議会だよりから抜粋)

◎ 村では平成22年度に8,149,380円もの、突出して多額の不納欠損処理(何らかの理由により税金を納めることができないと決定すること)がされています。その理由は

Ⓐ 平成22年度に800万円を超える不納欠損処理を確認しました。当時の行政に重大な問題があったと言わざるを得ず、当時の責任者には、大きな法的ないしは政治的、道義的責任があるものと考えます。当時の関係者への責任追及を検討するとともに、村民の皆様にも説明する責任があります。



道志村食生活 改善推進員会

会長 佐藤 美智子さん

村民の健康を願ひ

本会は、村民の健康づくりをめざすことを目的として活動を始め、休会していた期間もありますが、平成23年度から現在の体制となっています。令和2年度から会員数が減少し、現在9名で活動をしています。

食を通じたボランティアとして、「ヘルスメイト」「食改さん」などと呼ばれています。バランスのとれた食生活について学んだことを実践し、家族や地域の方々へ働きかけ仲間とのふれあいを通して、より良い食習慣づくりを進めています。

主な活動として、小中学校料理教室、シニアカフェ、楽と

どうし、男性の料理教室、放課後子ども教室で献立の考案、当日の講師などを行っています。その他に、家庭訪問事業として、地域の方々のご協力のもと塩分調査を行っています。また、



表彰状

今年度は、社会福祉協議会と連携し、福祉講座の際に「バッククッキング」を紹介しました。災害時における備えとして実演することで大変興味を持っていただきました。そういった私たちの活動が評価され、本年度、

厚生労働大臣賞を受賞し、会員一同これからの活動の励みとなりました。

今後も、研修会等に参加し、スキルアップに励みながら、村民みなさんと交流する機会を大切にしていきたいと思ひます。



メンバーの皆さん



スポーツ少年団、道志トルベジーノJrのコーチとして活動し始めて早十数年が経ちます。

その間、自分の子供3人も団員として活動させていただきました。

私は、道志トルベジーノの一員として社会人サッカーをしていました。その活動も人数の減少により終わりを迎えました。しかし地元道志村で少年サッカーの監督をしている佐藤建蔵さんに声をかけていただき子供たちの指導をするようになりました。

正直、自分は割と体は動かせる方で今まで自分がどうやってボールを蹴っているなど考えたこともありませんでした。しかし子供達に教える時に、こんな感じで蹴るんだよが通じなくて初めて自分がどう蹴っているんだろうと考えました。それがまた自分がサッカーを見つめ直すきっかけになったのでとても良い経験でした。

また、指導した子供達が大人になってから、フットサルやサッカー

サッカー仲間との出会い大切に

道志トルベジーノJr コーチ ^{すぎもと まさと} 杉本 正人 さん



体育祭で競技する子供たち

で同じチームや敵として一緒にプレーできた時はとても嬉しくどの場面でも教え子には負けたくないという気持ちがあり、その時はかなり無理をしてしまうことがあります。その気持ちがあるうちは現役でサッカーをしようと思います。

私は中学からサッカーを始めて35年、サッカーを通じて多くの人と知り合え、一回試合をしただけでも別の場面で会った時も、この間の試合はありがとうと、声をかけていただき今でも友達付き合いをしている人もいます。こんな事があったのも自分が一生懸命やっていたからだと思います。

そんな経験を教え子達にもしてもらいたいです。現在、団員数は減少していて、小学1年生から5年生までで9人しかいません。しかしサッカーをやりたい子供がいるうちはコーチとして頑張っていきたいと思っています。

祝 受賞

宮下美恵子さん（保健師）におかれましては、このたび、「第35回医療功労賞」を受賞されました。議会として、心よりお祝い申し上げます。

編 一集 一後 一記

冬の寒さから解放され、春の息吹を感じる季節となり、村民各位におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

新議会構成となり早一年が過ぎようとしています。

この一年議会改革を進める中で広報・広聴に力を入れ、この度、目安箱を設置し皆様の意見を幅広く聞く機会を持ちました。また、議会だよりにおきましても今以上に、分かりやすく、読んでもらえる事を目標に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。（杉本孝正）

6月 定例会

6月3日（火）開会予定

広報常任委員会	
委員長	佐藤 真澄
副委員長	半田 博敏
委員	杉本 孝正
委員	佐藤 広一